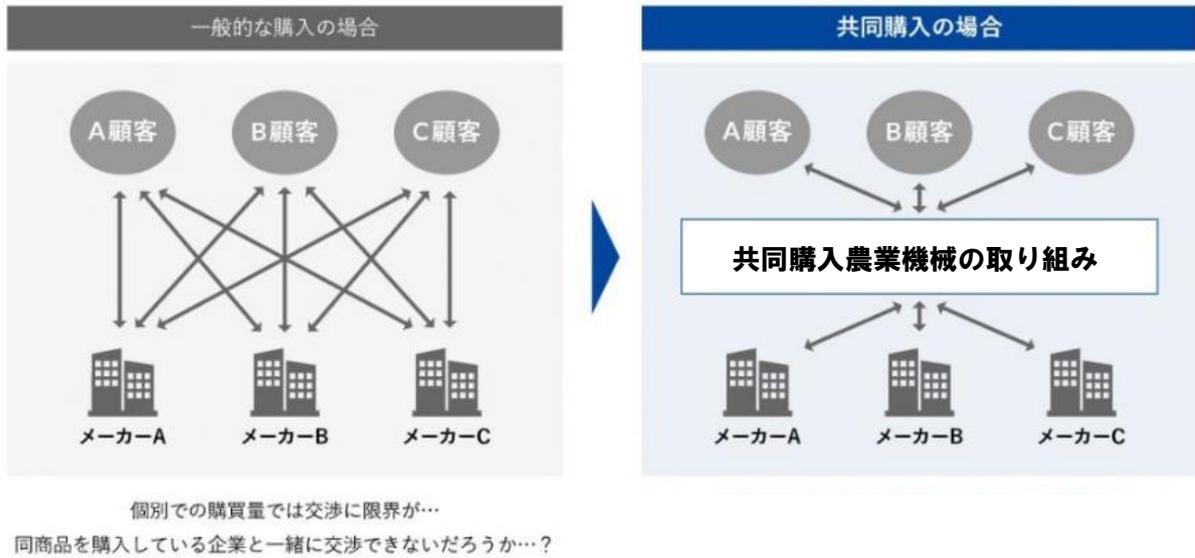


共同購入の考え方について

大量取引による規模の利益の実現によって、仕入コストの低減をはかり、取引条件を有利にする取引方法です。共同購入では、購入する主体が複数で同じ品目を同条件（共通の仕様）で購入します。共通の仕様で多くの数量を購入することで、購入する側はボリュームを増やすことでバイイング・パワーを得ることができます。

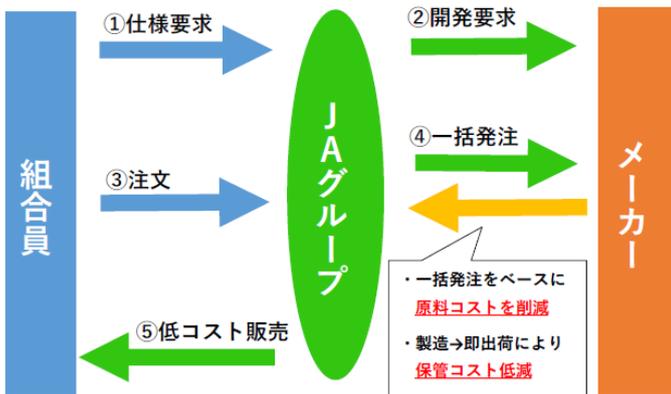


J Aグループ共同購入農機の取組概要について

全農では、J Aグループの全国的な協同の力を結集し、生産者の皆様から事前に積み上げた購入意向台数を背景に、全農が大量・一括購入をすることで製造・流通の効率化を図り、生産者の皆様へ農業機械をより安く供給するコスト低減の取組みを進めています。

＜共同購入のしくみ＞

＜今までの共同購入農機＞



<p>【第1弾】大型トラクター YT357JZQH (57馬力)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組み期間：平成30年10月～令和3年3月</li> <li>・価格低減効果：生産者渡し価格ベースで4社の同クラスと比較して約20～30%程度低減</li> <li>・目標台数：1,000台</li> <li>・供給台数：2,214台</li> </ul>	
<p>【第2弾】中型トラクター SL33L (33馬力)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組み期間：令和2年12月～令和5年2月</li> <li>・価格低減効果：メーカー希望小売価格ベースで同クラス標準仕様と比較して約20%程度低減</li> <li>・目標台数：2,000台</li> <li>・供給台数：3,855台 (令和4年12月14日時点)</li> </ul>	

今回、共同購入農機の第3弾として、初めての季節商品となる共同購入コンバイン（4条刈り・50馬力帯）が誕生しました。共同購入の取組みによって、生産者の購入価格は現行同型クラスのコンバインと比較し、10%～15%程度の価格の引き下げを実現しています（地域により異なります）。取扱台数は全国で1,000台（期間：令和6年4月から令和9年9月）を計画しています。

## 【用語解説資料】

全農

この取り組みでは、コンバインの仕様について7千名を超える稲作生産者の声を反映しています（アンケート及び意見交換）。生産者が必要な機能を厳選し、価格を抑えながらも、機体が左右に傾いても水平に保つ車体水平制御や湿田作業でもなめらかな旋回と安定した直進ができる常時駆動方式など、作業性に優れた機能が採用されています

※動画をご用意しています。以下のリンクからご視聴ください。

YouTube J A全農耕種資材部 農業機械課

共同購入コンバイン（YH448AEJU）誕生!!

[https://youtu.be/v7KPFYV1QUU?si=145mk05N7\\_1Ed3ye](https://youtu.be/v7KPFYV1QUU?si=145mk05N7_1Ed3ye)



J A全農耕種資材部農業機械課

「生産者 & J A 共同購入コンバイン（YH448AEJU）誕生！」

